

2025年4月20日

No. 651

4月、7月、9月、11月、1月、3月
20日発行

発行人
〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
公益社団法人 福島県畜産振興協会
電話 (024) 573-0515
FAX (024) 573-0565
URL <http://fukushimalin.gr.jp/index.htm>
anteil@bz03.plala.or.jp
kanri-eiseika@bz03.plala.or.jp
keikai@bz03.plala.or.jp
編集者 森 口 克彦
印刷所 (株) 第一印刷

令和7年度 福島県の畜産振興について

福島県農林水産部畜産課

令和7年度における本県農林水産業の施策の基本方向は、農林水産業振興計画に掲げる「東日本大震災・原子力災害からの復興の加速化」、「多様な担い手の確保・育成」、「生産基盤の確保・整備と試験研究の推進」、「需要を創出する流通・販売戦略の実践」、「戦略的な生産活動の展開」、「活力と魅力ある農山漁村の創生」、さらに「社会情勢に応じた対応」を加えた7つの方針に沿った施策に戦略的に取り組み、複合災害からの早期の復興と農林水産業・農山漁村の更なる発展を目指すこととしております。

畜産においては、飼料価格の高止まりや、牛肉・子牛価格の低迷などの厳しい状況が継続していることから、畜産経営の安定・強化を図りながら、東日本大震災及び原子力

災害により大きな被害を受けた畜産の生産基盤の回復や、風評により価格が低下している牛肉等畜産物の信頼回復とおいしさ・品質のPR強化によるブランド再生などに向けて、生産振興対策や流通対策に一体的に取り組むこととしています。

今年度の施策の推進に当たっては、新たに酪農・肉用牛の経営体質の強化を支援するとともに、ゲノミック評価とAI肉質評価を組み合わせた肉用牛生産や、子実用とうもろこしの飼料活用、福島牛「福柏花」の認知度向上、全国和牛能力共進会への出品支援など、新技術等を積極的に活用しながら、本県の畜産の復興・再生に取り組んでまいります。

令和7年3月4日 畜産課

1 令和7年度ふくしまの畜産復興等の施策体系

- 東日本大震災及び原発事故の影響により、本県畜産は大きな被害を受けており、早急に生産基盤等とブランド力を回復させることが必要。
○農家戸数、飼養頭数の減少に伴い、畜産物の生産量が減少しており、飼養頭数、生産量を回復させることが必要。
○経営休止農家の経営再開や、規模拡大など経営支援対策が必要。
○放射性物質の影響により自給飼料の利用が制限されているとともに、輸入粗飼料・配合飼料が高止まりしていることから、自給飼料の生産拡大、緊急的な購入支援策の継続に加えて、経営体質の強化が必要。
○牛肉等の価格が風評被害により低下しているため、放射性物質検査の実施などによる信頼回復と、本県畜産物のおいしさや品質のPRによるブランド再生が必要。
○復興途中のなか、TPP等国際競争にさらされることになることから、生産コストの削減や品質向上等を図ることが必要。

経営安定対策

- ＜経営再開支援対策＞
◇福島県営農再開支援事業
【150,125千円】(畜産関係技術)
・旧警戒区域内における継続飼養農家への適正飼養管理の指導、埋却家畜の処理等
・放射性物質の吸収抑制対策の実施
・営農再開に向けた家畜の飼養実証
・家畜の導入支援
・除染後草地の品質・生産性向上対策(特認)
・営農再開地域での飼料作物生産推進(特認)
◇福島県原子力被災12市町村農業者支援事業
【502,115千円】(704,244千円)
・原子力被災12市町村において営農再開等を行う農業者に対して、必要な機械の導入や施設の整備等に係る費用を補助
◇福島県高付加価値産地展開支援事業
【295,000千円】(3,463,750千円)
・営農再開加速化に向け、付加価値の高い生産・加工等を行う産地創出を支援。

生産振興対策

- ＜肉用牛復興等対策＞
◇「福島牛」次世代型技術実証事業(ゲノミック評価とAI肉質評価による肥育技術実証)
【171,647千円】(171,647千円)
・優良肥育素牛の導入を支援するとともに、ゲノミック評価とAI肉質評価を組合せることで、適期出荷を図りもうかる農業を実現
◇ふくしまブランド。優良と牛育成支援事業
【5,160千円】(一千万円)
・全国和牛能力共進会で優秀な成績を収め、福島県産牛の市場価値向上と風評払拭を図るため、優秀な出品候補牛の生産を支援する。
◇「福島牛」次世代型技術実証事業(新たなゲノミック評価を用いた「福島牛」改良)
【44,142千円】(44,142千円)
・ゲノミック評価による種雄牛育成、高能力繁殖雌牛導入・保留を支援
◇「福島牛」次世代型技術実証事業(未来の肉用牛飼養管理実証)
【9,500千円】(10,300千円)
・肉用牛一貫生産体制を推進するための繁殖雌牛導入を支援するとともに、ゲノミック評価とAI肉質評価を組合せて若齢種雄牛枝肉成績の早期判明を実証
＜酪農復興等対策＞
◇中核酪農家生産基盤強化事業
【65,528千円】(65,528千円)
・中核酪農経営体の乳用初妊牛導入や高能力乳用雌牛への転換を支援。
◇次世代酪農家育成・乳量UPチャレンジ事業
【1,116千円】(1,675千円)
・担い手の技術・経営能力向上のための研修会等の開催支援
◇乳用牛改良推進事業
【33,165千円】(30,121千円)
・優良初妊牛を導入するための低利資金の貸付等

- ＜飼料の確保・価格高騰対策＞
◇ふくしまならではの自給飼料増産推進事業
【33,428千円】(33,428千円)
・子実用とうもろこしの作付モデルや効率的草地管理の実証、牧草・青刈りととうもろこしの作付面積拡大への助成(面積拡大の奨励金単価を増額)
◇飼料価格高騰対策事業
【931,231千円】(1,152,895千円)
・配合飼料価格、輸入粗飼料価格が高止まりしていることで、生産者の実質負担額が増額していることから、増額分の一部を支援(うち759,669千円)
・飼料価格高止まりの影響を受ける畜産農家の経営強化のため、繁殖雌牛の増頭による経営基盤の強化や、牛群検定の普及・活用による所得向上を支援(うち171,562千円)

流通対策

- ＜消費回復・ブランド復興等対策＞
◇ふくしまの畜産ブランド再生事業
ふくしまブランド農林水産物販売力強化事業(農産物流通課)の一部
【46,403千円】(53,232千円)
畜産物各種商談会の参加・販促活動支援、SNSにおけるトップセールス、販売指定店の拡大
◇うまい!福島県産牛生産・販売力強化対策事業
【35,059千円】(58,742千円)
・福島牛「福柏花」の認知度向上に向け販売促進フェア等を開催。
＜安全性確保＞
◇肉用牛全頭安全対策推進事業【37,531千円】(37,420千円)
・牛肉放射性物質検査に要する経費

◇: その他復興対策等関連事業

【】内は令和7年度予算額
○内は令和6年度予算額
下線は令和7年度の変更点



就任のごあいさつ

福島県相双家畜保健衛生所長 山本 みどり

このたびの定期人事異動により、福島県相双家畜保健衛生所長に着任いたしました。

相双家畜保健衛生所での勤務は5年ぶり2回目となりますが、わずか5年の間に畜産情勢は目まぐるしい変化を見せていることを痛感しております。

コロナ禍による食生活の変化や、飼料・資材等の価格高騰により、畜産経営への深刻な影響が長期化していることは周知の事実です。また、地球温暖化の加速により、猛暑、台風、集中豪雨、雪害などの自然災害に直面し、畜産経営環境における問題は幾重にも重なっています。

家畜衛生分野では、令和2年、会津若松市において県内初の野生イノシシにおける豚熱陽性事例が確認されて以降、その広がりには浜通りにも及んでいます。全国的には令和7年3月末現在、飼養豚において97事例の豚熱発生が報告されております。県内全域の養豚農場で豚熱ワクチン接種が行われるようになったものの、他県では豚熱ワクチン接種農場でも豚熱の発生が認められており、予断を許さない状況が続いています。よって、適切な時期のワクチン接種が求められることはもちろんのこと、飼養衛生管理基準の遵守等、本病侵入防止対策の再徹底を図ることが重要であるため、引き続き、衛生指導等に取り組んでまいります。

また、令和4年には全国的に高病原性鳥インフルエンザが大流行し、管内養鶏場においても本病の発生が認められました。関係者の皆様の多大なる御協力により、防疫措置が早期に完了したことが、その後の確実なまん延防止につながったものと考えております。本事例により、発生予防の重要性を再認識し、本病が発生した地域だからこそ活かすことができる経験や教訓をもとに、今後、万が一の発生に備えるべく、関係者の皆様とともに取り組んでまいりたいと考えております。

一方で、東日本大震災および福島第一原子力発電所事故からの復興、営農再開において着実な進展が見られています。

酪農分野では、浪江町で建設中の大規模復興牧場について、令和8年4月の運用開始に向け、福島県酪農業協同組

合様による自給飼料の生産や堆肥等の利用拡大、担い手の確保等、多様な取組が進められています。

また、肉用牛においては、和牛去勢におけるA5ランクの格付割合は全国的に増大し、平成24年度の20.1%から令和5年度では63.6%となっております。このような状況の中においても、管内の肥育農家では全国レベルの枝肉共励会で優秀な成績を収められており、技術の高さが窺えます。肉質成績においてレベルの高い福島牛は、AI肉質診断技術や地域資源の活用等、更に踏み込んだ戦略により、他地域との差別化の実現につながるものと期待しております。

前任地である畜産研究所では、震災後、苦渋の御決断により避難・休止された畜産農家の皆様の営農再開に向けた試験研究に取り組んでいるところです。しかし、それらは福島畜産が単に震災前の姿に戻ることを目的としているのではなく、冒頭に述べた昨今の課題への取組が、畜産の新たな発展につながるという考えがもとになっています。今回、御縁あって相双地方の畜産に関わることになった私にとって、畜産研究所の取組の成果を現場にお繋ぎすることも畜産振興に向けた責務だと考えております。

令和7年度は第2期復興・創生期間の最終年度であるとともに、新たな「ふくしま創生総合戦略」が始まる年です。この戦略は「危機を光に変える」という思いが込められ、「福島ならではの」地方創生を目指しています。相双地方ならではの畜産が光となるよう、職員一丸となって家畜衛生及び畜産振興に取り組んでまいりますので、御協力・御支援を賜りますようお願い申し上げます、就任の御挨拶といたします。





就任のごあいさつ

福島県農業総合センター畜産研究所長 佐藤 亮一

このたびの定期人事異動により、福島県農業総合センター畜産研究所長に就任しました佐藤亮一でございます。よろしくお願いいたします。

私は、今年で、県職員として32年目を迎えますが、畜産研究所の勤務は、平成8年度(1996年)に沼尻分場に赴任し、黒毛和種の受精卵移植、繁殖の業務に携わったのが始まりで、研究員、肉畜科長、沼尻分場長として、合計15年間という県職員生活の半分を勤務させていただき、このたび再び、畜産研究所への異動となり、たいへん光栄に感じているところであります。

研究としては、黒毛和種の連続採卵、飼料用米を給与した肥育試験、短期肥育試験(発酵飼料給与)に取り組むとともに、種雄牛造成、スーパーアイミート(肥育牛の超音波肉質診断)、不飽和脂肪酸(オレイン酸)含有率に関与するSCD遺伝子調査など黒毛和種の改良を主な業務として担当し、第11回全国和牛能力共進会(宮城全共)にも種雄牛(若雄)の出品担当として参加させていただきました。

令和9年に北海道で第13回全国和牛能力共進会が開催されますが、県有種雄牛の「隆福久」、「麓山白清」、「福弥生」、「姫白鵬72の3」が出品牛の交配種雄牛となっており、ゲノミック評価や「福島県の肉用牛生産基盤再生のために!」との鳥取県の御協力により実現した鳥取県の名牛「白鵬85の3」を用いた新たな取組により造成された注目の種雄牛であります。

新技術であるAIミート(人工知能による超音波肉質診断)、ゲノミック評価などの技術をフルに活用し、福島県の代表牛が多く上位入賞できますよう努めてまいります。

また、酒どころ福島の酒粕を給与した福島牛「福粕花(ふくはっか)」が昨年12月にデビューし、「脂の甘味が強い」、「やわらかい」、「ジューシー」などの特徴が高く評価され注目されており、豚では、本県特産の桃を活用した飼料(桃皮残さと白酒ヌカの混合)を給与し高付加価値豚肉生産に取り組んでおります。

鶏では、すでに登録済みの「川俣シャモ」に続き、今年3月には、「会津地鶏」がGI(その地域ならではの環境

要因の中で育まれてきた品質、社会的評価等の特性を有する産品。)に登録されるなど、多くの種畜(牛、豚、鶏)を所有し県内の畜産物の安定的生産等に関わる当所としては、引き続き種畜の能力向上と「ふくしま」ならではの美味しい畜産物の生産に向けた技術開発を進めてまいります。

一方、近年の飼料、資材等の高騰や気候変動による猛暑が畜産経営に大きな影響を及ぼしております。震災以降、取り組んできました営農再開地域での牧草の放射性セシウム吸収抑制技術、飼料用トウモロコシの安定生産や子実用トウモロコシの利用技術及び収量性の優れた牧草生産技術等の開発を今後も継続するとともに、県内でも増えつつある大規模酪農経営における諸問題については、当所に令和6年に完成した搾乳ロボットシステムを備えた大規模酪農施設を活用し、生産コスト削減、乳房炎ワクチンの開発など、課題解決に向けて取り組んでまいります。

畜産研究所勤務中は、常々、畜産現場を歩き、見て、声を聞くことで試験研究へのヒントをたくさん得てきたと感じており、これからも畜産業に携わる方々とお目にかかる機会を大切にしていきたいと考えております。

最後になりましたが、畜産農家の皆様に役立つ技術開発に取り組み、研究成果を発信し、本県の畜産振興に寄与できますよう、全職員が一丸となって取り組んで参りますので、これまでどおり、皆様の御協力、御支援を賜りますようお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。



主要事業の概要

(抜粋：畜産課関係)

1 次世代型ふくしまの畜産推進事業

【畜産課】

(1) 目 的

飼料価格高騰や畜産物取引価格の下落による県内畜産農家の経営不振を解決するため、ゲノミック評価やA I肉質評価システムなどの新技術の活用や研修会開催の支援を行う。

(2) 事業内容

ア 次世代酪農家育成・乳量UPチャレンジ事業

若手酪農家らが実施する、飼養技術や経営管理能力の向上のための研修の開催を支援する。

(ア) 事業主体 福島県酪農青年研究連盟

(イ) 事業費 1,116千円(国558千円、県558千円、その他一千円)

イ 「福島牛」次世代型技術実証事業

(ア) ゲノミック評価とA I肉質評価による肥育技術実証

県内子牛市場からの優良肥育素牛導入を支援するとともに、先端技術であるゲノミック評価とA I肉質評価システムを組み合わせることにより、評価結果に応じた適切な時期での出荷を促進し、もうかる農林水産業の実現を目指す。

a 事業主体 全国農業協同組合連合会福島県本部、一般社団法人福島県配合飼料価格安定基金協会

b 事業費 171,647千円(国142,000千円、県29,647千円、その他一千円)

(イ) 未来の肉用牛飼養管理実証

子牛相場の変動に経営を左右されない肉用牛一貫生産農家への移行を推進するため、繁殖雌牛を増頭する肥育農家を支援する。また、短期肥育技術の定着に向けた実証を継続するとともに県有種雄牛の早期デビューに向けた実証に協力する農家を支援する。

a 事業主体 市町村、全国農業協同組合連合会福島県本部

b 事業費 9,500千円(国一千円、県一千円、その他9,500千円)

(ウ) 新たなゲノミック評価値を用いた「福島牛」改良
ゲノミック評価の活用による優秀な種雄牛造成と県内繁殖雌牛群の改良を継続するとともに、消費者ニーズを踏まえ、ゲノミック評価に食味に関する

評価項目を加え、他県銘柄牛との差別化を図る。

a 事業主体 県

b 事業費 44,142千円(国24,984千円、県19,158千円、その他一千円)

(3) 事業期間 令和6年度～令和8年度

2 ふくしまプライド。優良和牛育成支援事業 【畜産課】

(1) 目 的

震災後、風評等の影響で、市場価格の低迷や生産基盤の減少などの課題をかかえる中、各道府県が和牛の能力・品質等を競う「全国和牛能力共進会(以下「全共」という。)」において優秀な成績を収め、本県の育種改良の成果や肥育技術の高さを全国へPRすることで、福島県産牛の市場評価の向上、震災によって縮小した生産基盤の回復と風評払拭を図る。

(2) 事業内容

全共への出品に当たっては、出品候補牛の生産から育成・調教等の飼養管理、会場での出品展示まで、複数年にわたり様々な取組を進めていく必要がある。令和7年度については、優秀な出品候補牛を生産するための取組を支援する。

(3) 事業主体 全国農業協同組合連合会福島県本部

(4) 事業費 5,160千円(国一千円、県一千円、その他5,160千円)

(5) 事業期間 令和7年度～令和9年度

3 ふくしまの畜産復興対策事業

【畜産課】

(1) 目 的

東日本大震災及び原発事故の影響により大きな被害を受けた本県畜産業の復興を図るため、生産、風評払拭及び経営安定の対策を一体的に支援する。

(2) 事業内容

ア 中核酪農家生産基盤強化事業

生乳生産基盤を強化するため、中核酪農経営体が乳用初妊牛導入により生乳生産量を増加させる取組を支援するとともに、受精卵移植、遺伝子評価等を活用した高能力牛への転換推進を支援する。

(ア) 事業主体 福島県酪農農業協同組合、全国農業協同組合連合会福島県本部等

(イ) 事業費 65,528千円(国65,528千円、県一千円、その他一千円)

(ウ) 補助率 定額、1／2以内

イ うまい!「福島県産牛」生産・販売力強化対策事業

原子力災害事故に伴う風評により減少した生産基盤を回復させるために、地域資源を飼料に活用した和牛肉の生産を支援し、和牛肉の販売拡大を推進することで生産基盤の強化を図る。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 35,059千円(国35,059千円、県一千円、その他一千円)

(3) 事業期間 令和3年度～令和7年度

4 肉用牛全頭安全対策推進事業 【畜産課】

(1) 目的

牛肉に対する消費者等の信頼を回復するとともに、県産ブランドの再生及び肉用牛農家の経営の安定を図るため、肉用牛を県外へ出荷する際に放射性物質検査を実施し、安全性の確保を図る。

(2) 事業内容

ア 牛肉の放射性物質の検査

県外においてと畜処理される肉用牛について、放射性物質検査に必要な材料を採取して検査機関へ搬入し、検査を行う体制を確立する。

イ 牛生体の放射性物質検査

放射性物質の検出リスクの高い繁殖雌牛等については、出荷前の生体で放射性物質検査を実施し、基準値を超過する牛肉が出荷されない体制を整備する。

(3) 事業主体 県

(4) 事業費 37,531千円(国一千円、県37,531千円、その他一千円)

(5) 事業期間 平成26年度～令和7年度

5 ふくしまならではの自給飼料増産推進事業 【畜産課】

(1) 目的

子実用とうもろこしの作付モデルや効率的草地管理の実証、牧草・飼料作物の作付面積拡大への助成により、自給飼料の生産・利用を高める。

(2) 事業内容

ア 自給飼料増産モデル構築事業

子実用とうもろこしのモデル栽培実証・給与実証、効率的草地管理の実証を通して、自給飼料生産を推進する。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 3,928千円(国一千円、県3,928千円、その他一千円)

イ 作付面積拡大支援事業

(ア) 面積拡大支援

畑地等において前年に比較して牧草・飼料作物

物の作付面積を拡大した生産者に奨励金を交付する。

a 事業主体 市町村、全国農業協同組合連合会福島県本部、福島県酪農業協同組合

b 事業費 19,500千円(国一千円、県19,500千円、その他一千円)

c 補助率 7,500円／10a

(イ) 子実用とうもろこし生産機械導入支援

子実用とうもろこしの生産拡大を推進するため、生産機械の導入を支援する。

a 事業主体 飼料生産組織等

b 事業費 10,000千円(国一千円、県10,000千円、その他一千円)

c 補助率 1／2以内

(3) 事業期間 令和5年度～令和7年度

6 飼料価格高騰対策事業 【畜産課】

(1) 目的

配合飼料価格、輸入粗飼料価格の高止まりにより、生産者の負担が増加していることから、飼料価格上昇分の一部に加え、繁殖雌牛の増頭や牛群検定の普及・活用による所得向上支援に係る費用の補助を行うことで、大きな影響を受け続けている畜産農家の経営安定を図る。

(2) 事業内容

ア 畜産配合飼料価格高騰対策事業

配合飼料価格安定制度の加入者に対し、配合飼料価格上昇分の一部を支援するほか、子牛価格の下落により特に厳しい経営状況にある和牛繁殖農家に対し、繁殖雌牛増頭による規模拡大支援を実施する。

(ア) 事業主体 一般社団法人福島県配合飼料価格安定基金協会等

(イ) 事業費 737,613千円(国一千円、県737,613千円、その他一千円)

(ウ) 補助率 定額(補助単価上限2,000円／t～下限400円／t以内、150千円／頭)

イ 酪農飼料価格高騰対策事業

酪農家に対し、輸入粗飼料価格の上昇分の一部を支援するほか、牛群検定の普及・活用による所得向上支援を実施する。

(ア) 事業主体 福島県酪農業協同組合等

(イ) 事業費 193,618千円(国一千円、県193,618千円、その他一千円)

(ウ) 補助率 輸入粗飼料価格上昇分の一部補助:定額(2,000円／t以内)、牛群検定に必要な機器導入経費、検定情報に基

づく飼養管理改善経費：3／4以内、
事業実施主体が開催する研修会開催
経費：定額

(3) 事業期間 令和4年度～令和7年度

7 地域畜産総合支援体制整備事業 【畜産課】

(1) 目 的

畜産を取り巻く厳しい情勢に対処するため、経営感覚に優れ生産性の高い経営体への育成、家畜の飼養管理及び改良、生産性の向上等、畜産経営を安定化させるための経営技術の指導、情報発信体制を整備、経営改善に取り組む意欲・努力を助長し、畜産経営体の経営・生産技術の高度化・安定化を促進する。

(2) 事業内容

ア 畜産経営技術高度化指導事業

畜産関係団体連絡協議会の開催、「畜産福島」の発刊・配布等の活動を通じて、本県の畜産経営技術指導の高度化を促進する。

(ア) 事業主体 公益社団法人福島県畜産振興協会

(イ) 事業費 1,000千円（国一千円、県1,000千円、
その他一千円）

(ウ) 補助率 定額

イ 畜産団体活動強化事業

蜂蜜の生産技術及び品質の向上に関する研修会の開催経費の一部を補助する。

(ア) 事業主体 福島県養蜂協会

(イ) 事業費 126千円（国一千円、県126千円、
その他一千円）

(ウ) 補助率 定額

(3) 事業期間 平成26年度～令和7年度

8 乳用牛改良推進事業 【畜産課】

(1) 目 的

乳用牛群検定情報等を活用した飼養管理改善指導によって、生産性の高い経営体の育成を図り、生乳生産の効率化及び乳用牛の能力を向上させ酪農経営の安定を図るため、資質の優良な高能力乳用雌牛を計画的に導入する生産者団体に対し低利資金の貸付を行う。

また、第16回全日本ホルスタイン共進会に出品するための支援を行う。

(2) 事業内容

ア 生乳生産効率化支援事業

酪農家の飼養管理技術の向上を支援するため、最新の知見を得た支援技術者を養成する。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 121千円（国一千円、県121千円、
その他一千円）

イ 高能力乳用雌牛整備事業

低利の初妊牛導入資金の貸付を行い、酪農家の乳用牛群改良を促進する。

(ア) 事業主体 福島県酪農業協同組合

(イ) 事業費 30,000千円（国一千円、県一千円、
その他 30,000千円）

(ウ) 貸付利率 1年据置4年元金均等償還 年利
0.5%

ウ 第16回全日本ホルスタイン共進会対策事業

第16回全日本ホルスタイン共進会に参加するための負担金および出品対策経費の支援を行う。

(ア) 事業主体 福島県乳牛改良推進協議会

(イ) 事業費 3,044千円（国一千円、県3,044千円、
その他一千円）

(3) 事業期間 平成25年度～令和7年度

9 中小家畜生産流通活性化事業 【畜産課】

(1) 目 的

県を代表するブランドである「地鶏」、「うつくしまエゴマ豚」の生産及び流通を活性化する。

(2) 事業内容

ア ふくしま地鶏肉質評価事業

新系統から作出された大型シャモの旨味成分・食味を調査し、特徴が継承されている比較試験を実施する。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 150千円（国一千円、県一千円、
その他150千円）

イ 優良系統豚維持増殖事業

県内養豚農家の経営安定のため、本県で造成したランドレース種「フクシマL2」及びデュロック種「フクシマD桃太郎」を維持・改良し、生産農家へ安定供給する。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 8,351千円（国一千円、県2,230千円、
その他6,121千円）

(3) 事業期間 令和4年度～令和7年度

10 飼料増産総合推進対策事業 【畜産課】

(1) 目 的

「酪農・肉用牛生産近代化計画」の達成に向け、飼料生産対策会議による総合調整機能を強化するとともに、生産組織の育成、自給飼料の需給マッチング及び奨励品種の導入推進等により自給飼料の増産を推進するとともに、飼料の安全確保のための指導等を実施する。

(2) 事業内容

ア 自給飼料増産総合推進事業

- (ア) 自給飼料確保・適正使用指導
飼料生産対策会議を核にして、飼料増産・適正使用等を推進する。
- (イ) 飼料作物奨励品種選定・普及推進
本県の気候等に合う生産性の高い品種を奨励品種として選定、普及する必要があることから、品種選定のための試験及び選定会議等を行う。
- (ウ) 自給飼料生産組織育成支援
自給飼料の生産拡大のため、研修会開催、実態調査等を行う。

イ 流通飼料対策推進事業

- (ア) 飼料安全性確保強化指導事業
安全で高品質な畜産物の生産を推進するため、飼料の安全性等に関する連絡調整、飼料及び飼料添加物の適正使用を図る。

(3) 事業主体 県

(4) 事業費

ア 181千円（国一千円、県181千円、その他一千円）

イ 121千円（国一千円、県121千円、その他一千円）

(5) 事業期間 平成23年度～令和7年度

11 家畜衛生対策事業

【畜産課】

(1) 目的

畜産農家の生産性向上及び安全な畜産物生産を図るため、家畜の飼養環境、疾病の浸潤状況、動物用医薬品使用状況等を調査・分析するとともに、それを基に畜産農家に対する指導を行う。

(2) 事業内容

ア 家畜衛生技術指導事業

- (ア) 会議の開催、家畜疾病に関する情報提供
- (イ) 巡回指導（疾病発生防止対策、動物用医薬品適正使用等）
- (ウ) 慢性疾病等低減対策
- a 事業主体 県
- b 事業費 1,692千円（国841千円、県511千円、その他 340千円）

イ 監視・危機管理体制整備促進対策事業

- (ア) 家畜衛生関連情報整備対策
家畜衛生に関する情報を収集・分析し、家畜の衛生対策を講ずる。
- (イ) 動物用医薬品危機管理対策
家畜由来薬剤耐性菌の発現状況を全国レベルで調査する。
動物用医薬品販売業等を巡回し、流通段階における動物用医薬品の品質検査を行う。

a 事業主体 県

b 事業費 1,100千円（国550千円、県209千円、

その他341千円）

ウ 飼養衛生管理向上施設整備事業

豚熱等の発生を防止するための、野生動物や雨水の侵入防止効果が高い「壁」の整備を支援する。

(ア) 事業主体 各地方家畜衛生推進協議会等

(イ) 事業費 123,045千円（国123,045千円、県一千円、その他一千円）

(ウ) 補助率 1／2以内

(3) 事業期間 平成25年度～令和7年度

12 獣医師確保対策事業

【畜産課】

(1) 目的

高病原性鳥インフルエンザや豚熱等の家畜伝染病は国内で断続的に発生しており、これらの伝染病予防や衛生指導、伝染病発生時の指揮を取るのが公務員獣医師の重要な職務であるが、全国的に人材が不足している状況にある。本県においても、獣医師職員の確保は喫緊の課題となっており、本県の畜産振興のためにもこれまで以上に獣医師確保対策を強化する。

(2) 事業内容

ア 大学訪問・獣医系大学におけるPR

獣医系大学の就職説明会等への参加、パンフレットの作成及び獣医系雑誌への広告掲載などの取組により、獣医学生及び既卒者へのPR強化を行い、獣医師の確保を図る。

イ 獣医学生研修

獣医学生を対象として「福島体験研修」及び「福島県家保研修」を行う。東日本大震災からの復興に向かっている畜産業や県民の姿を直接肌で感じてもらうことにより、獣医師の確保を図る。

ウ 社会人獣医師家畜保健衛生所見学

転職を検討している社会人獣医師を対象として家畜保健衛生所見学等を実施し、本県就職後の姿をイメージしてもらうことで、獣医師の確保につなげる。

エ 若手獣医師職員育成制度

家畜衛生分野におけるスキルアップを目的として、家畜保健衛生所の若手獣医師職員を対象とした研修会の開催に加え、外部の学会等への参加を促進して、知識・技術の修得及び意欲向上を図る。さらに、本取組を魅力の一つとして獣医学生等に情報発信し、獣医師確保につなげる。

(3) 事業主体 県

(4) 事業費 3,782千円（国一千円、県3,782千円、その他一千円）

(5) 事業期間 令和7年度

13 家畜防疫事業

【畜産課】

(1) 目 的

福島県内に飼養されている乳用牛、肉用牛、豚、鶏等を対象に、家畜伝染病予防法に基づく家畜伝染病の検査を実施し、各種伝染病の発生予防及びまん延防止を図り、生産性の向上に資する。

(2) 事業内容

ア 家畜伝染病予防法に基づく検査及び各種疾病調査
家畜伝染病予防法第5条及び第51条に基づく検査及び立入検査を実施する。

イ BSE検査体制推進事業

BSE対策特別措置法第6条に基づき、生前に行方困難・起立不能等の症状を呈していた牛のBSE検査を実施する。

ウ 自衛防疫強化総合対策事業

アカバネ病ワクチンに係る獣医師技術料を支援する。

(ア) 事業主体 公益社団法人福島県畜産振興協会

(イ) 事業費 1,305千円（国一千円、県1,305千円、その他一千円）

(ウ) 補助率 定額

エ 家畜衛生講習会研修経費

家畜衛生の専門機関である国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門において、家畜の病性鑑定に係る高度な技術を習得するため、長期研修（5月～10月）や特殊講習会を受講し、県内における家畜疾病の診断技術の向上に資する。

オ 家畜保健衛生所精度管理体制整備推進事業

家畜保健衛生所法に基づく検査体制の整備のため、家畜保健衛生所の検査機器の点検及び外部機関による検査精度確認検査を受検する。

カ 特定家畜伝染病防疫体制整備事業

特定家畜伝染病の発生及びまん延防止を目的とした発生予防のための検査及び初動防疫に必要な資材の計画的な備蓄等を実施する。

キ 豚熱感染防止対策事業

豚熱の感染防止を目的としたワクチン接種、ワクチン接種後の免疫付与状況確認検査を実施する。

(3) 事業費 106,982千円（国55,262千円、県29,412千円、その他22,308千円）

(4) 事業期間 平成30年度～令和7年度

14 福島県営農再開支援事業

【農業振興課・農業担い手課・環境保全農業課・水田畑作課・園芸課・畜産課】

(1) 目 的

原子力災害の影響により、農作物等の生産断念を余儀なくされた避難区域等においては、営農再開に向け

た環境が整っていないことから、農業者が帰還して、安心して営農再開できることを目的として行う一連の取組を支援する。

(2) 事業内容

ア 除染後農地等の保安全管理

原則、除染作業が完了した農地のうち、将来、営農が再開される見込みのある農地であって、営農が再開されるまでの間、当該農地における除草等の保安全管理、地力増進作物の作付や肥料・土壌改良資材の施用等の土づくり、営農再開に必要な不可欠な農道及び用水路等の除草、清掃及び補修の取組を支援する。

イ 鳥獣被害防止緊急対策

避難地域等の営農再開に向けて阻害要因となる野生鳥獣対策のため、被害防止活動の実施や被害防止施設の整備などの取組を支援する。

ウ 放れ畜対策

東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径20km圏内で放れ畜となった牛等について、営農再開や帰還の支障となっているものの捕獲に向けた柵等の整備、捕獲、マーキング等の作業等を実施する。

エ 営農再開に向けた作付・飼養実証

(ア) 稲の実証栽培

令和4年産稲の作付再開準備区域等において、区域内に農地を有する農家等が帰還後に安心して水稻栽培を再開できる技術体系を実証する取組を支援する。

(イ) 野菜等の出荷等制限解除

避難指示解除準備区域等において、ホウレンソウ等の非結球性葉菜類、キャベツ等の結球性葉菜類、ブロッコリー等のアブラナ科花蕾類、カブ等の出荷制限等の解除に向けた実証栽培を行う。

(ウ) 野菜、花き及び飼料作物の実証栽培

避難指示解除準備区域等において、野菜、花き及び飼料作物の営農再開に向け、収量・品質を確保する栽培管理等の手法を実証するための取組を支援する。

(エ) 家畜の飼養実証

地域畜産の営農再開に向けて、安全な畜産物が生産できることを確認するための乳牛及び肉用牛の飼養実証に必要な経費を支援する。

(オ) 実証研究

避難区域等において、農業者の営農再開に対する不安を払拭することで地域の営農再開を進めるため、県が地域の協力のもと、営農再開を希望する現地ほ場において、既存研究成果等を活用し

た実証栽培を行う。

オ 避難農家の農地を管理耕作する者への支援

避難指示の解除や除染の終了等により営農再開が可能となった農地のうち、避難先からすぐに帰還しない農家の農地等を作業受託組織等が一時的に水稻、大豆、飼料作物などを栽培して管理耕作する場合に必要な農業機械の導入等を支援する。

カ 放射性物質の交差汚染防止対策

放射性物質が付着した糞すり機等を使用することにより、農産物が放射性物質に汚染されることを防止するため、交差汚染防止対策の実施・指導に係る取組や糞すり機等のとも洗いに係る経費を支援する。

キ 新たな農業への転換支援

土地利用型作物における大規模で効率的な生産体制構築のための大区画化・組織的経営による営農再開の取組や園芸作物における新たな栽培方法・品目への転換による営農再開の取組を支援する。

ク 家畜の導入支援

営農再開等に必要となる家畜の導入の取組を支援する。

ケ 水稻の作付再開支援

除染が終了した水田のうち、次年度に作付が再開される見込みの水田について、水稻の作付再開に必要な耕盤再形成や均平化のための代かき、獣害により損傷を受けた畦畔の修復に係る取組を支援する。

コ 除染後農地の地力回復支援

(ア) 堆肥・酸度矯正資材の施用による地力回復

除染特別地域で表土剥ぎによる除染を実施したほ場におけるたい肥等の調達経費・散布経費等を支援する。

(イ) 大型機械による深耕

除染特別地域で表土剥ぎによる除染を実施したほ場における大型機械による深耕を行うための経費を支援する。

サ 地域営農再開ビジョン策定支援

避難指示区域等の営農再開に向けて、農業者の意向把握、担い手の再編、農地の集積など地域営農の展望（ビジョン）を総合的に検討するための取組を支援する。

シ 先端技術等を活用した大規模な営農再開拠点構築に向けた支援

(ア) 大規模な営農再開拠点の構築

業法人等が、市町村、農業協同組合、機械メーカー及び流通事業者等と連携し、大規模な営農再開拠点を構築するための先端技術の実装、新

規作物の導入、管理耕作等の取組を支援する。

(イ) 大規模な営農再開拠点の構築体制の推進

(ア)の成果の普及・啓発活動を実施する。

ス 放射性物質の吸収抑制対策

土壌等に蓄積した放射性物質の農作物への移行の低減を図るため、カリ質肥料等の施用、低吸収品目・品種等への転換、果樹等の改植・剪定、反転耕・深耕の対策を支援する。

セ 放射性物質の吸収抑制対策の効果的な実施体制の整備

放射性物質の吸収抑制対策等を効果的に実施するため、土壌・農産物等の分析、カリ散布状況等を記載した台帳の整備や現地調査の実施などの取組を支援する。

ソ 特認事業

原子力発電所事故によって中止を余儀なくされた農産物生産の再開及び出荷制限等の解除への取組を阻害する課題に迅速に対応するための取組を支援する。

(ア) 営農再開に向けた復興組合支援

復興組合等が営農再開に向けた農地の保全管理等の事業に取り組む際に必要となる経費を支援する。

(イ) 稲作生産環境再生対策

作付中止期間に獣害により損傷した畦畔等の修復や追加的に必要となった雑草等の防除のほか、避難区域等以外の地域における交差汚染を防止するための糞すり機等のとも洗いなどの取組を支援する。

(ウ) 農業者の安全管理支援

農業者が安心して営農できるよう、放射線に関する健康講座の開催等、農業者の安全管理を支援する。

(エ) 作付再開水田の漏水対策

長期間にわたって水稻の作付を休止した水田における作付再開を円滑に推進するため、通常の営農活動に追加して行う漏水対策を支援する。

(オ) 「たらのめ」生産再開支援

避難地域等において管理を再開した「たらのき」園地における追加的防除及び改植を支援する。

(カ) 作付再開に伴う水稻苗の供給支援

米全量生産出荷管理等の対象区域において、水稻苗の育苗を他市町村で行う場合、生産した苗の区域内への輸送に必要な掛かり増し経費を支援する。

(キ) 避難指示解除区域における飼料生産供給対策

避難指示解除区域で除染後農地を活用した飼料作物の作付と、生産された飼料の県内流通に

必要な供給体制の整備、飼料分析等を支援する。

(ク) 除染後牧草の品質・生産性回復対策

原発事故後に除染と吸収抑制対策（カリ質肥料の散布）を実施した牧草地を対象として、土壌分析結果に基づく苦土石灰の施用を支援する。

(ケ) 有害鳥獣生息状況調査に基づく被害防止対策パッケージ実施支援

県が市町村と連携し、イノシシ、ニホンザル等の生息状況等の把握などにより、対象地域内の状況を踏まえた総合的な対策を講じる体制整備を支援する。

(コ) 集落単位等で農地を作付管理する地域への支援
集落ぐるみでの地域営農の再構築を図るため、実践モデルほ場の設置や農業用機械のリース導入、農地の作付管理等を支援する。

(カ) 避難区域等における農業者等の確保支援

避難区域等における新規就農や企業参入等の実現可能性を把握し、地域営農再開ビジョン等へ反映していくため、活用可能な支援策等の調査、就農・参入モデルの策定、就農・参入上の課題・要望調査、地域の受け入れ体制の調査、各種調査結果や情報等のプラットフォームの構築の取組を支援する。

(シ) 担い手への農地集積に向けた準備への支援

地域営農再開ビジョン等により担い手への農地集積が見込まれる農地について、当該農地における除草等の荒廃防止、地力増進作物の作付や肥料・土壌改良資材の施用等の土づくり、営農再開に必要な不可欠な農道及び用水路等の除草、清掃及び補修の取組を支援する。

(ス) 作付再開水田の均平化支援

新たに水稻等の作付を再開する農地又は再開して間もない農地において、大型機械による乾土均平の取組を支援する。

(3) 事業主体

(2)のア、オ、カ、キ、ケ、コ、シ

市町村、農業協同組合、農業者団体等

(2)のイ 市町村、協議会等

(2)のウ 県

(2)のエの (ア)、(ウ)、(エ)

市町村、農業協同組合、農業者団体等

(2)のエの (イ)、(オ) 県

(2)のク 農業者、集落営農組織、農事組合法人等

(2)のサ 市町村、農業協同組合、協議会等

(2)のシの (ア) 農業法人、農業協同組合等

(2)のスの (イ) 県

(2)のセ 県、市町村、農業協同組合等

(2)のソの (ア)、(キ) 農業協同組合、農業者団体等

(2)のソの (イ)、(エ)、(オ)、(ク)、(シ)

市町村、農業協同組合、農業者団体等

(2)のソの (ウ) 県、農業協同組合、農業者団体

(2)のソの (ケ) 県

(2)のソの (カ) 市町村、農業協同組合等

(2)のソの (コ) 農業者団体等

(2)のソの (サ) 県、市町村、農業協同組合、農業者団体等

(2)のソの (ス) 市町村、農業協同組合、農業者団体等

(4) 事業費 3,155,772千円（国一千円、県一千円、その他3,155,772千円）

(5) 補助率 定額、1／2以内等

(6) 事業期間 平成24年度～令和7年度

15 原子力被災12市町村農業者支援事業 【農業振興課】

(1) 目的

原子力被災12市町村における農業再生を進めていくため、営農再開等に必要な初期経費等の一部を補助する。

(2) 事業内容

ア 原子力被災12市町村において営農再開等を行う農業者に対して、必要な機械の導入や施設の整備等にかかる費用を補助する。

イ 補助金交付にあたり必要となる市町村の事務経費を補助する。

(3) 事業主体

ア 原子力被災12市町村において営農再開等を行う農業者等

イ 市町村

(4) 事業費 502,115千円（国一千円、県一千円、その他502,115千円）

(5) 補助率 ア 3／4以内 イ 定額

(6) 事業期間 平成28年度～令和7年度

16 福島県高付加価値産地展開支援事業 【農業振興課】

(1) 目的

避難地域12市町村の営農再開の加速化に向け、生産、加工等が一体となった高付加価値生産等を市町村を越えて広域的に展開する産地の創出に必要な取組を支援する。

(2) 事業内容

推進事業

高付加価値産地の展開に必要な、機械リース、生産資材や家畜の導入、高収益作物の導入や新たな栽培技術及びICTの導入等に向けた調査・検証、出荷規格

の統一や効率的な出荷体制の構築に向けた調査・検証、
耕畜連携の推進、コントラクターの育成等を支援する。

- (3) **事業主体** 農業者団体、民間事業者等
 (4) **事業費** 295,000千円（国250,000千円、県45,000千円、その他一千円）
 (5) **補助率** 機械リース 国3／4以内、県9／40以内（震災復興特別交付税措置予定）
 機械リース以外 定額
 (6) **事業期間** 令和3年度～令和7年度

17 農林水産物等緊急時モニタリング事業【環境保全農業課】

- (1) **目 的**
 県産農林水産物等の安全性を確保するため、緊急時モニタリング検査を実施するとともに、その結果を生産者や消費者、流通業者に迅速に公表する。
 (2) **事業内容**
 本県産の農林水産物等のモニタリング検査を実施し、検査結果を公表する。（玄米、穀類、野菜、果実、原乳、肉類、鶏卵、水産物、きのこ、山菜類、飼料作物等）
 (3) **事業主体** 県
 (4) **事業費** 437,853千円（国437,284千円、県一千円、その他569千円）
 (5) **事業期間** 平成25年度～令和7年度

18 畜産環境保全対策事業【環境保全農業課】

- (1) **目 的**
 家畜排せつ物の適正処理及び利用促進とともに畜産環境の保全対策を図るため、家畜排せつ物法に基づく、畜産農家への立入検査及び適正管理に向けた指導助言等を行うとともに、家畜排せつ物等の高度利用並びに循環利用の促進に関する支援を行う。
 (2) **事業内容**
 ア 家畜排せつ物の管理の適正処理の検査、指導
 畜排せつ物法に基づく、畜産農家への立入検査及び適正管理に向けた指導助言等を行う。
 イ 家畜排せつ物等循環利用促進事業
 (ア) 家畜排せつ物等循環利用促進事業
 家畜排せつ物、堆肥の利用の促進を目的とした堆肥生産等の指導、技術導入の支援を行う。
 (イ) 家畜排せつ物等高度利用技術支援事業
 家畜ふん尿堆肥の高度利用（堆肥のペレット化等）の調査・研究、技術開発等を行う。
 ウ 家畜排せつ物等流通支援事業
 (ア) 特殊肥料流通支援事業
 家畜排せつ物及び堆肥の流通に必要となる品質表示や有機JAS適合資材認証の取得などの経

費を支援する。

- (イ) 地域循環利用支援事業
 家畜排せつ物堆肥の地域内循環利用の促進を図るため、耕畜連携など地域ぐるみで堆肥を利用する取組に必要な経費を支援する。

- (3) **事業主体**
 ア、イ 県
 ウ (ア) 堆肥生産者（特殊肥料届出事業者）等
 (イ) 市町村、JA、協議会 等
 (4) **事業費** 12,364千円（国一千円、県211千円、その他 12,153千円）
 (5) **補助率**
 ウ (ア) 定額（上限500千円）
 (イ) 定額（備品購入費は1／2以内）（上限1,500千円）
 (6) **事業期間** 平成24年度～令和8年度

19 家畜疾病経営維持資金利子補給等事業【農業経済課】

- (1) **目 的**
 鳥インフルエンザの発生により影響を受けた養鶏農家等が、家畜疾病経営維持資金を利用する際、国による利子補給とは別に県が利子補給の上乗せを行うとともに、債務保証料を県が負担することにより、実質無利子、無保証料による資金の円滑な融通を図る。
 (2) **事業内容**
 ア 利子補給事業
 家畜疾病経営維持資金の融通を行った融資機関に対し借受者の負担を軽減するため利子補給を行う。
 令和6年度融資枠 6億2千万円
 イ 保証料補助事業
 借受者が負担する家畜疾病経営維持資金の債務保証料の全額を福島県農業信用基金協会に補助する。
 (3) **事業主体**
 ア 利子補給事業 農業協同組合等融資機関
 イ 保証料補助事業 福島県農業信用基金協会
 (4) **事業費**
 ア 利子補給事業 9,057千円（国一千円、県9,057千円、その他一千円）
 イ 保証料補助事業 17,541千円（国一千円、県17,451千円、その他一千円）
 (5) **補助率**
 ア 利子補給率 借受者が負担する貸付利率
 イ 保証料補助率 借受者が支払う保証料の10／10
 (6) **事業期間** 令和4年度～令和7年度

20 ふくしまプライド農林水産物販売力強化事業

【農産物流通課・園芸課・畜産課】

(1) 目 的

福島ならではの強みを活かしたブランド化の推進や常に消費者の手が届く環境を拡大するためのさらなる販売棚の確保、情報発信によるイメージ向上の取組等により、県産農林水産物の価格ポジションを震災前の姿を取り戻すとともに、海外への戦略的な情報発信を通じて輸入規制の撤廃を働きかけることで、本県の基幹産業である農林水産業の復興を目指す。

(2) 事業内容

＜「ふくしま」ブランド拡大推進対策＞

福島ならではの強みを活かしたブランド力の向上を図るとともに、「オールふくしま」で販路拡大に取り組むことで、全国の消費者に本県への親近感を浸透させ、風評の払拭を目指す。

ア ふくしま農林水産物ブランディング事業

県産農林水産物のさらなるブランド力向上のため、県外量販店等において販売促進フェアを開催するとともに、マーケットイン調査に基づくテスト販売をモデルケースとして実施することで消費者やバイヤーへの先進的なPR方法を確立する。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 225,954千円（国225,954千円、県一千円、その他一千円）

イ 農林水産物マッチング事業

県産農林水産物の魅力、安全に対する取組への理解促進や販路拡大につなげるため、食品流通・小売・飲食店事業者を対象としたマッチング支援（商談会・交流会・産地視察等）を実施することで一層の販路拡大を図る。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 78,510千円（国78,510千円、県一千円、その他一千円）

ウ おいしい ふくしま いただきます！キャンペーン事業

県内量販店等において県産農林水産物の消費拡大キャンペーンやトップセールスを実施し、消費者にPRすることで県産農林水産物の美味しさの再認識、地産地消の拡大につなげる。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 25,810千円（国25,810千円、県一千円、その他一千円）

エ 全国での販売促進PR

県産農林水産物等の一層の販路回復・拡大を図り風評を払拭するため、関係団体等と連携したトップセールス等により、流通・販売事業者の経営者層や消費者への働きかけを行う。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 10,850千円（国10,850千円、県一

千円、その他 一千円）

オ ふくしま米ブランド化推進事業

(ア) 「福、笑い」ブランド化推進事業

県トップブランド米「福、笑い」のブランディングにかかる取組を実施する。

(イ) ふくしま米ブランド販路拡大推進事業

県産米の販売促進キャンペーン、飲食店等とのタイアップ等、セールス・プロモーションを実施する。

(ウ) ふくしま米消費拡大推進事業

県産米の消費拡大及び需要拡大を図るためPR活動等の取組を支援する。

a 事業主体

(ア)・(イ) 県、(ウ) 福島県米消費拡大推進会議

b 事業費 232,152千円（国232,152千円、県一千円、その他一千円）

カ ふくしまの畜産ブランド再生事業

(ア) おいしい「ふくしまの畜産」消費拡大事業

畜産物の消費拡大イベントを実施するとともに畜産団体の取組を支援する。また、オンライン・SNS等を活用した畜産物のPRを行う。

(イ) 「福島牛」ブランド再生事業

「福島牛」ブランドの復興に向けた安全性・おいしさのPRや販路拡大等を支援する。

a 事業主体 県、全国農業協同組合連合会福島県本部、福島牛販売促進協議会、畜産団体

b 事業費 46,403千円（国46,403千円、県一千円、その他一千円）

キ 使ってふくしま！契約野菜産地育成事業

加工・業務用野菜の取引拡大を目的に、マッチング商談会及びセミナー等各種イベントを開催し、契約野菜の新たな販路確保と産地育成を図る。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 5,264千円（国5,264千円、県一千円、その他一千円）

ク 「ふくしまプライド。」県産農林水産物販売力強化支援事業

県内の農業者団体等が風評の払拭に向けて国内で実施する、県産農林水産物等の販路拡大や、消費拡大のためのPRやブランド力強化の取組を支援する。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 129,950千円（国129,950千円、県千円、その他一千円）

ケ ふくしま旬の食材等活用推進事業

幼少期から旬の食材と触れ合う機会を創出するため、学校等の給食に地域ならではの製品の導入を促

進し、県産材の活用を支援することにより、地産地消及び食育の推進を図る。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 63,319千円（国63,319千円、県一千円、その他一千円）

コ 農産物直売所等ネットワーク強化事業

地産地消のプラットフォームである直売所・道の駅間のネットワークを強化し、販売拡大につなげるための取組を創出する。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 6,253千円（国6,253千円、県一千円、その他一千円）

＜オンラインストアによる販売促進＞

オンラインストアを活用することで積極的に販売棚を確保し、県産農林水産物が常に消費者等の手に届く環境を拡大することで、国内マーケットにおける本県産品の地位の確立を図る。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 319,160千円（国319,160千円、県一千円、その他一千円）

＜農林水産物戦略的情報発信＞

科学的根拠に基づく県産農林水産物の安全性を多言語で分かりやすく発信することで安心につなげるとともに、テレビCM等の活用により魅力を全国に向けて発信することでイメージ向上を図り、風評の払拭を目指す。

ア 「ふくしまプライド。」情報発信事業

県産農林水産物に対するイメージ向上を図るため、消費者への影響力の大きいテレビCM等を活用した対策を実施するとともに、風評に関連する調査を行い、効果的な情報発信対策や販路拡大対策を検討する。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 258,835千円（国258,835千円、県一千円、その他一千円）

イ 食品モニタリング検査情報発信事業

放射性物質モニタリング検査結果を公表するWEBサイトを運用することで、科学的根拠に基づく情報を発信し、県産食品の安全に関する理解を深める。

(ア) 事業主体 県

(イ) 事業費 5,883千円（国5,883千円、県一千円、その他一千円）

(3) 事業期間 平成30年度～令和7年度

21 産地生産力強化総合対策事業

【園芸課・水田畑作課・畜産課】

(1) 目的

震災前よりもさらなる産地の生産力強化を図るため、園芸振興推進体制の構築や県オリジナル品種の導入、各種作物の産地規模の拡大、省力・低コスト化、高品質化のための機械・施設の導入など、生産の拡大に直結する取組を支援する。

(2) 事業内容

ア 産地育成推進事業

関係機関・団体が一体となって園芸振興に取り組む推進体制を構築するとともに、県オリジナル品種の普及を強力に進める。

イ 産地育成整備事業

(ア) 園芸作物支援対策

a 新規園芸品目導入支援事業

水稲から園芸品目への転換促進や永年性作物の初期生産資材への助成など、市町村、JA等が主体となった新規栽培者の確保・定着の取組を支援する。

(a) 事業主体 市町村、農業公社、農業協同組合、地域農業再生協議会、農業法人、営農集団、農業法人等

(b) 補助率 1／3以内、4／10以内、1／2以内、定額

b 省力化支援事業

水田の活用や契約出荷の取組など、作付面積の拡大や、出荷量増加を図るための省力機械等の導入を支援する。

(a) 事業主体 市町村、農業協同組合、営農集団、農業法人等

(b) 補助率 1／3以内、4／10以内、1／2以内、定額

c 生産力強化支援事業

生産量・品質の向上により産地の販売額向上を図るための施設化や高品質安定生産を図るための装置等の導入を支援する。

(イ) 土地利用型作物支援対策

大豆、麦類、そば、なたね等、飼料作物及び主要農作物（稲・麦類・大豆）種子の生産について、低コスト化、高品質化及び生産拡大を図るために必要な機械・機器等の導入を支援する。

(3) 事業費

ア 641千円（国一千円、県641千円）

イ 42,900千円（国一千円、県42,900千円）

(4) 事業期間 令和3年度～令和7年度

地方競馬ミルクウィーク2025開催

福島県馬事畜産振興協議会

飼料・資材費の高騰などによる乳価の引き上げの影響を受け、市販牛乳の価格も少しずつ上昇していることから生乳の消費が鈍化傾向にあり、特に年度末、春休みの時期は学校給食での消費も落ち込むことから、地域に根差した生乳の消費拡大を目的に、令和7年3月16日(日)、水沢競馬場(岩手県奥州市)において「ミルクウィーク2025」が開催されました。



このイベントは全国13カ所の地方競馬場で開催され、東北各県の馬事畜産振興協会も参加して、畜産振興の観点からそれぞれの地域自慢の牛乳・乳製品の配布等によるPR活動が行われました。

当日は、午前の部は開門の午前11時から、午後の部は午後1時から、2回に分けて配布が行われました。午後からはみぞれ混じりの雨模様と生憎の天気でありましたが、乳製品を受け取るため、配布小屋前に長蛇の列が出来るなど大盛況でした。

配布された牛乳・乳製品

青森県馬事畜産振興協議会……………飲むヨーグルト 300個
秋田県馬事畜産振興協議会……………ジャージーヨーグルト ポケット 300個
宮城県地域畜産振興対策協議会……………モーランド ヨーグルト・ババロア 300セット
山形県馬事畜産振興協議会……………奥羽そだち、県産こだわりヨーグルト 300セット
岩手県競馬振興協議会……………くずまき高原ヨーグルト 300個
福島県馬事畜産振興協議会……………酪王牛乳、酪王のむのむヨーグルト 300セット
日本乳業技術協会(提供)……………蔵王酪農ミルクキューブ 1,000個



また、同日の第4レース「がんばれ! 福島県の酪農応援賞」においては、優勝した塚本涼人騎手(岩手県出身)、馬主・調教師・厩務員へ、褒賞として福島県産乳製品(目録)の授与を行いました。



乳製品配布の様子



乳製品の配布を待つ長蛇の列



優勝した塚本涼人騎手へ褒賞授与の様子

肉用牛肥育経営安定交付金制度(牛マルキン制度) 発動状況

(単位: 円/頭)

販売月		肉専用種 (東北ブロック福島県)	交雑種(全国)	乳用種(全国)
令和7年2月	暫定単価	13,939.2	0.0	32,234.4
	概算払い単価	6,939.2	0.0	25,234.4
	精算払い単価	7,000.0	0.0	7,000.0

※生産者負担金の猶予対象牛(コロナ対策)については支払い交付単価の3/4の支払となります。

※R4. 7月販売分より概算払単価は、標準的生産費と標準的販売価格との差額に100分の90を乗じた額から7,000円を控除した額となります。

福島の大自然とみつばちからの恵み



天然はちみつをどうぞ

福島県養蜂協会

〒960-8502

福島市南中央三丁目36番地（福島県畜産振興協会内）

TEL 024-573-0515 FAX 024-573-0565



美容と健康に
おこし
はちみつはいかが！

品質と信頼の

くみあい配合飼料

JA全農グループ

JA全農くみあい飼料株式会社

北日本事業本部

〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野一丁目12-1 いちご仙台イーストビル

TEL (022) 792-8040 (代表)

南東北支店 福島営業所

〒963-0725 郡山市田村町金屋字川久保23 JA全農福島郡山ビル2F

TEL (024) 941-0825

FAX (024) 941-0827

肉用子牛のための「強化」哺育専用代用乳」ができました！！

カーボップEX ブラック

“強化”哺育とは…

- ・子牛が本来もっている発育能力をフルに発揮させる哺乳方法です。
- ・従来の粉ミルクとは全く違った栄養バランスの粉ミルクを、通常よりも多く給与することにより、フレームのしっかりした牛に育ちます。また、固形飼料の摂取量低下を防ぎ、より食い込める素牛への成長を助けます。

福島県酪農業協同組合 〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 TEL：0243-33-1101(代)



動物と人の間に、いつもゼノアック。



日本全業工業株式会社
福島県郡山市安積町金屋字川久保23-1
www.zenoaq.com



御用命は

- ◎牛用・豚用・鶏用
各種ワクチン類
- ◎家畜防疫資材
- ◎家畜用医薬品
- ◎家畜用衛生資材

福島県動物薬品器材協会
事務局 株式会社アスコ内
〒960-0033 郡山市南中央三丁目36番地

小田島商事株式会社
福島市鎌田字卸町十一の四
〒960-0033 郡山市南中央三丁目36番地

日本全業工業株式会社
福島営業所
郡山市安積町金屋字川久保23-1
〒963-0725 郡山市田村町金屋字川久保23

株式会社アグロジャパン
南東北営業部（福島）
郡山市開成六丁目六七一
〒963-0725 郡山市田村町金屋字川久保23

日新殖産株式会社
伊達市梁川町字東塩野川二五
〒960-0033 郡山市南中央三丁目36番地

株式会社アスコ
本宮市本宮字下台18-12
〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17

『動物用医薬品は、
正しく使用し、
休薬期間を
厳守しましょう』

畜 産 福 島

令和7年度 農林水産部の新体制（畜産関係職員名簿）

（令和7年度）4月1日版

所 属	職 名	氏 名	住所・電話・FAX
農林水産部	部 長	沖野 浩之	〒 960-8670 福島市杉妻町 2-16
農林企画課	主 査	関 航	TEL 024-521-7319 FAX024-521-7944
農業振興課	主 幹	松澤 保	TEL 024-521-7336 FAX024-521-7937
	主任主査	関澤 春仁	
	主 査	沼 玲子	
	主 査	渡邊 鋼一	
	主任主査	木幡 和宏	
農業担い手課		網中 潤	TEL 024-521-7344
環境保全農業課	課 長	新谷 真美	TEL 024-521-7381 FAX024-521-7938
	副課長兼主任主査		TEL 024-521-7320
農産物流通課	主 幹	齋藤 浩光	TEL 024-521-7356 FAX024-521-7942
畜産課	課 長	横田 真良	
	主 幹	千葉 正	
	副課長兼主任主査兼ふたば復興事務所次長	笹川 純	
	主任主査（畜政担当）	内田 守譜	
	主 査	青山 勝也	TEL 024-521-7366 FAX024-521-7939
	主 査	藤田 裕貴	
	主 事	城間 瑠花	
	技 師	根本 陽奈	
	主任主査（酪農担当）	妹尾 毅	
	技 師	小松 一樹	TEL 024-521-7365
	技 師	猪腰 雄也	
	主 事	鈴木 彪雅	
	専門員	緑川 良一	
	主任主査（肉用牛家畜担当）	湯坐 久	
	副主査	堀切真太郎	TEL 024-521-7365
	技 師	松田 祐輝	
	主 事	平間 仁	
	主任主査（飼料・環境担当）	富永 哲	
	副主査	石川 拓磨	
	技 師	四家 未晴	TEL 024-521-7364
	専門獣医技師（家畜衛生担当）	松本 裕一	
	主任獣医技師	橋本 知彦	
	主任獣医技師	寺本 直輝	
県北農林事務所			〒 960-8670 福島市杉妻町 2-16
農業振興普及部	副主査	三浦 紗美	TEL 024-521-2604 FAX024-521-2851
	専門員	遠藤 亮子	TEL 024-521-2608
伊達農業普及所			〒 960-0634 伊達市保原町大字大泉字大地内 124
	専門員	深谷 寿之	TEL 024-575-3181 FAX024-575-3064
安達農業普及所	副主査	有我 桃子	〒 964-0915 二本松市金色 424-1
	技 師	田尻 優生	TEL 0243-22-1127 FAX0243-22-5839
県中農林事務所			〒 963-8540 郡山市麓山 1 丁目 1 番 1 号
農業振興普及部	部 長	志賀 忠市	TEL 024-935-1317
	農業振興課長	鈴木 浩之	TEL 024-935-1307 FAX024-935-1514
	主 査	片倉真沙美	
	専門員	積口 和司	
	技 師	中岫 廉	
	専門員	鈴木 庄一	
田村農業普及所	所 長	生沼 英之	〒 963-7704 田村郡三春町大字熊耳字下荒井 176-5
	経営支援課長	横田 和子	TEL 0247-62-3113 FAX0247-62-6069
	技 師	三宅 巧馬	
	技 師	齋藤 朋華	
須賀川農業普及所			〒 962-0823 須賀川市花岡 34-2
	主 査	金澤 忍	TEL 0248-75-2180 FAX0248-72-8331
	技 師	小柳穂奈乃	
県南農林事務所			〒 961-0971 白河市昭和町 269
農業振興普及部	農業振興課長	角田 明子	TEL 0248-23-1555 FAX0248-23-1559
	主 査	緑川 史子	TEL 0248-23-1562

畜 産 福 島

所 属	職 名	氏 名	住所・電話・FAX
	技 師	服部 奏斗	
会津農林事務所 企画部 農業振興普及部	主任主査 主任主査 主 査 技 師	一条 晶恵 大島 健司 遠藤 幸洋 宗像真由美	〒 965-8501 会津若松市追手町 7-5 TEL 0242-29-5369 FAX0242-29-5389 TEL 0242-29-5302 FAX0242-29-5314 TEL 0242-29-5307 TEL 0242-29-5306
喜多方農業普及所	主任主査 技 師	大矢 浩司 松崎 稔史	〒 966-0901 喜多方市松山町鳥見山字下天神 6-3 TEL 0241-24-5744 FAX0241-24-5746
会津坂下農業普及所	主 査	齋藤 英恵	〒 969-6506 河沼郡会津坂下町大字見明字南原 881 TEL 0242-83-2113 FAX0242-82-3951
南会津農林事務所 企画部 農業振興普及部	企画部長 部 長 農業振興課長	吉田 安宏 柳沼 浩 佐藤 光洋	〒 967-0004 南会津郡南会津町田島字根小屋甲 4277-1 TEL 0242-62-5250 FAX0242-62-5256 TEL 0242-62-5253
相双農林事務所 農業振興普及部	所 長 主 査 技 師 技 師 技 師	本多 巖 京谷 隆侍 野口 泰世 羽根田 柚 寺崎 汰一	〒 975-0031 南相馬市原町区錦町 1 丁目 30 TEL 0244-26-1147 FAX0244-26-1169 TEL 0244-26-1150
双葉農業普及所	所 長 主任主査 主 査 技 師	中村 弥 熊谷 有子 寺田 俊介 宮崎 美沙	〒 969-1111 双葉郡富岡町小浜 481 TEL 0240-23-6473 FAX 0240-22-2560
いわき農林事務所 農業振興普及部	農業振興課長 主 査	高村 博之 坂本 利彦	〒 970-8026 いわき市字梅本 15 TEL 0246-24-6160 FAX0246-24-6196 TEL 0246-24-6161
中央家畜保健衛生所	所 長 主任専門獣医技師兼次長 衛生指導課長 主任主査 主任獣医技師 主任獣医技師 副主任獣医技師 専門員 専門員 専門員 専門員 防疫課長 主任獣医技師 主任獣医技師 副主任獣医技師 獣医技師 獣医技師 専門員 病性鑑定課長 主任獣医技師 副主任獣医技師 副主任獣医技師 副主任獣医技師 副主任獣医技師 獣医技師 安全対策・監視課長 副主任獣医技師 獣医技師	藤本 尊雄 三瓶 直樹 武田 枝理 鈴木 幸代 高倉 優子 山田 高子 杉内 信哉 門屋 義勝 野崎 達雄 田中 純子 宗像 良二 星 陽子 宮野 英喜 神川 綾香 蛭田 彩子 高山 湧太 澤田 剛志 松井 安弘 稲見 健司 清野 頼十 西郷 智貴 喜多見はるか 篠田 肇 岩永海空也 鈴木 桃香 大倉 直子 小川 彩香 稲葉 俊祐	〒 963-6311 石川郡玉川村大字岩法寺字新屋敷 114-12 TEL 0247-57-6131 FAX0247-57-6144
県北家畜保健衛生所	所 長 次長兼衛生指導課長 主任獣医技師 主 査 副主任獣医技師	小森 淳子 原 恵 穂積 愛美 大森 常輔 田川 麻衣	〒 960-8132 福島市東浜町 5-18 TEL 024-531-1301 FAX024-531-6810

畜 産 福 島

所 属	職 名	氏 名	住所・電話・FAX
	防疫課長 副主任獣医技師 獣医技師	三瓶佳代子 齋藤 大士 松平あかり	
会津家畜保健衛生所	所 長 次長兼衛生指導課長 主 査 主任獣医技師 防疫課長 主任獣医技師 主任獣医技師	秋元 穰 白田 聡美 宇佐美悦子 横山 浩一 佐藤 敦子 佐藤 東 今井 直人	〒 965-0077 会津若松市高野町大字上高野字村前 90 番地 TEL 0242-25-0599 FAX0242-25-0799
相双家畜保健衛生所	所 長 主任専門獣医技師兼次長兼衛生指導課長 主 査 副主任獣医技師 副主任獣医技師 防疫課長 獣医技師	山本みどり 鎌田 泰之 櫻井 亮 齋藤由美子 石田 真菜 山本 伸治 金田志緒理	〒 975-0033 南相馬市原町区高見町 1 丁目 276-1 TEL 0244-24-3451 FAX0244-24-3614
農業総合センター 企画経営部 企画技術科	主任研究員	丹治利佳子	〒 963-0531 郡山市日和田町高倉字下中道 116 TEL 024-958-1700 FAX024-958-1726
安全農業推進部 分析課	主 査	宮本 拓平	TEL 024-958-1734 FAX024-958-5322
畜産研究所	所 長 副所長兼動物工学科長 主任主査 主 査 専門員 主任研究員 研究員 酪農科長 研究員 研究員 肉畜科長 主任研究員 研究員 研究員 研究員 養鶏科長 研究員 飼料環境科長 主任研究員 研究員	佐藤 亮一 岡田 徹 末永 奈保 吉田美紀子 川原吹俊光 瀧脇 広子 谷内田 柊 新妻 恭子 吉田 朋恵 亀井 結佳 古閑 文哉 尾形 賢治 戸田 宗生 岡 直樹 堀江 大樹 佐藤 妙子 橋矢田健人 萩原 瞳 中村フチ子 菅野 那奈	〒 960-2156 福島市荒井字地藏原甲 18 TEL 024-593-1096 FAX024-593-4977 TEL 024-593-1221 TEL 024-593-1222 TEL 024-593-1223 TEL 024-593-1228 TEL 024-593-4159
畜産研究所沼尻分場	主任専門研究員兼分場長 主任研究員 主 事 研究員	石川 雄治 齋藤 美緒 加藤 励 高橋 司宰	〒 969-2752 耶麻郡猪苗代町大字蚕養字日影山乙 3696 TEL 0242-64-3409 FAX0242-64-2844
浜地域農業再生研究センター	副主任研究員	木村 有希	〒 975-0036 南相馬市原町区萱浜字渠掛場 45 番 169 TEL 0244-26-9562 FAX0244-26-9563
農業短期大学校 農業経営部	畜産経営学科長 教務主任 教務主任 教務主任 教務主任 教務主任 教 務	壁谷 里織 矢内 伸佳 佐藤 三枝 大原 弓佳 河原田友美 高萩 淳子 緑川 修	〒 969-0292 西白河郡矢吹町一本木 446 TEL 0248-42-4137 FAX0248-44-4553 TEL 0248-42-4114
環境創造センター (安達郡大玉村駐在)	専門獣医技師	壁谷 昌彦	〒 969-1302 安達郡大玉村玉井字長久保 67 番地 TEL 0243-24-6631 FAX0243-48-3412
大阪事務所	次長	大槻 健治	〒 530-0001 大阪市北区梅田一丁目3番1-900 号 TEL 06-6343-1721 FAX06-6343-1727

畜 産 福 島

福島県畜産関係団体連絡協議会名簿

(令和7年4月1日) 順不同

所 属	職 名	氏 名	住所・電話・FAX	所 属	職 名	氏 名	住所・電話・FAX																																										
全国農業協同組合 連合会福島県本部	県本部長	菅野 康徳	〒 960-0296 福島市飯坂町平野字三枚長 1-1 ☎ 024-554-3201 FAX024-554-6158	福島県獣医師会	会 長	浦山 良雄	〒 960-8043 福島市中町 7-17 ☎ 024-522-3921 FAX024-522-3928																																										
	副本部長	太田 豊	福島県牛乳協会		常務理事	坂本 秀樹	〒 969-1104 本宮市荒井字下原 14 酪王協同乳業管内 ☎ 0243-24-6595 FAX0243-24-6596																																										
	副本部長	高橋 智浩			主 事	遠藤 佳子																																											
	部 長	石川 洋		会 長	鈴木 伸洋	〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-33-1101 FAX0243-33-1103																																											
	専任部長	小林 健二	事務局長	南條 光夫																																													
	次 長	小松 良雄	福島県牛乳普及協会	会 長	紺野 宏		〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 ☎ 0243-33-1101 FAX0243-33-1103																																										
	(兼)畜産販売課長	鈴木 健一		事務局長	松岡 陽慈																																												
	畜産酪農課長	山内 純也		(公社)全国和牛登録 協会福島県支部	支 部 長	柳沼 智		〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 ☎ 024-983-0937 FAX024-956-0420																																									
	復興農場設立 準備室室長	古山 修	副支部長	八木 喜孝																																													
	家畜市場課長(兼)	高久 英寿	副支部長	星 晴博																																													
家畜せり市場長			室 長	齋藤 高史	〒 960-8032 福島市陣場町 1-27 ☎ 024-523-4622 FAX024-522-4130																																												
畜産販売課東畜産販売 事務所専任課長兼所長			有我 真里																																														
			本多 紗生																																														
福島県農業協会 同組合中央会	代表理事会長	菅野 啓二	〒 960-0294 福島市飯坂町平野字三枚長 1-1	福島県養豚協会	会 長	木野内 理	〒 960-8032 福島市陣場町 1-27 ☎ 024-523-4622 FAX024-522-4130																																										
	副 会 長	数又 清市	(一社)福島県配合飼料 価格安定基金協会		理 事 長	三品 清重		〒 960-8043 福島市中町 1-19 中町ビル 4 F ☎ 024-521-1764 FAX024-521-3556																																									
	常務理事	今泉 仁寿			常務理事	矢内 清恭																																											
参 事	和田 光浩	主 事		鈴木 真澄	福島県乳牛改良 推 進 協 議 会	主 事	渡邊 恵美		〒 960-8043 福島市中町 1-19 中町ビル 4 F ☎ 024-529-5657 FAX024-521-3556 〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226																																								
部 長	山田 朋世	福島県養鶏協会	会 長	三品 清重		〒 960-8043 福島市中町 1-19 中町ビル 4 F ☎ 024-529-5657 FAX024-521-3556 〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226																																											
復興担当部長	古川 明男		代表取締役社長	安達 正則			〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226																																										
食農振興課	食農振興担当課長		佐々木則仁	会 長	岩谷 金良			〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226																																									
福島県酪農協同組合	代表理事組合長	紺野 宏	〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-33-1101 FAX0243-33-1103	(株)美土里耕産	代表取締役社長	安達 正則			〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226																																								
	副組合長理事	橋本 浩幸	会 長		岩谷 金良	〒 960-8073 福島市南中央三丁目 36 (畜産振興協会内) ☎ 024-573-0515 FAX024-573-0565 〒 960-8073 福島市南中央三丁目 36 (畜産振興協会内) ☎ 024-573-0515 FAX024-573-0565 〒 960-8073 福島市南中央三丁目 36 ☎ 024-573-0515 FAX024-573-0565																																											
	常務理事	岩谷 宏	事務局長		松岡 陽慈		福 島 県 酪 農 会 ヘルパー協会	会 長		紺野 宏	〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226																																						
	統括部長	原田 久雄	会 長		岩谷 金良			(株)福島県食肉 流通センター		代表取締役社長		若林 忠	〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226																																				
	経営管理部長 (兼)組織振興課長	松岡 陽慈	事務局長		松岡 陽慈					福 島 県 家 畜 人 工 授 精 師 協 会 (公社)福島県 畜産振興協会		代表取締役社長		若林 忠	〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226																																		
	経営管理部長次長 (兼)経営管理課長	佐々木光輝	事務局長		松岡 陽慈							福 島 県 家 畜 人 工 授 精 師 協 会 (公社)福島県 畜産振興協会		代表取締役社長		若林 忠	〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226																																
	経営管理課長代理	土屋 博之	事務局長		松岡 陽慈									福 島 県 家 畜 人 工 授 精 師 協 会 (公社)福島県 畜産振興協会		代表取締役社長		若林 忠	〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226																														
	生産部長	野口 泰幸	事務局長		松岡 陽慈											福 島 県 家 畜 人 工 授 精 師 協 会 (公社)福島県 畜産振興協会		代表取締役社長		若林 忠	〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226																												
	購買畜産課長	佐藤 隆	事務局長		松岡 陽慈													福 島 県 家 畜 人 工 授 精 師 協 会 (公社)福島県 畜産振興協会		代表取締役社長		若林 忠	〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226																										
	生産指導課長	平尾 修	事務局長		松岡 陽慈															福 島 県 家 畜 人 工 授 精 師 協 会 (公社)福島県 畜産振興協会		代表取締役社長		若林 忠	〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226																								
	指導診療課長(兼)	古姓 保	事務局長		松岡 陽慈																	福 島 県 家 畜 人 工 授 精 師 協 会 (公社)福島県 畜産振興協会		代表取締役社長		若林 忠	〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226																						
	指導診療所長	角田 淳也	事務局長		松岡 陽慈																			福 島 県 家 畜 人 工 授 精 師 協 会 (公社)福島県 畜産振興協会		代表取締役社長		若林 忠	〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226																				
	販売課長	柳沼 鉄治	事務局長		松岡 陽慈																					福 島 県 家 畜 人 工 授 精 師 協 会 (公社)福島県 畜産振興協会		代表取締役社長		若林 忠	〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226																		
	復興農場設立準備室長	柳沼 鉄治	事務局長		松岡 陽慈																							福 島 県 家 畜 人 工 授 精 師 協 会 (公社)福島県 畜産振興協会		代表取締役社長		若林 忠	〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226																
	復興農場設立準備室 事業統括	佐藤 幸光	事務局長		松岡 陽慈																									福 島 県 家 畜 人 工 授 精 師 協 会 (公社)福島県 畜産振興協会		代表取締役社長		若林 忠	〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226														
	県北事務所		事務局長		松岡 陽慈																											福 島 県 家 畜 人 工 授 精 師 協 会 (公社)福島県 畜産振興協会		代表取締役社長		若林 忠	〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226												
	県中事務所		事務局長		松岡 陽慈																													福 島 県 家 畜 人 工 授 精 師 協 会 (公社)福島県 畜産振興協会		代表取締役社長		若林 忠	〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226										
	田村事務所		事務局長		松岡 陽慈																															福 島 県 家 畜 人 工 授 精 師 協 会 (公社)福島県 畜産振興協会		代表取締役社長		若林 忠	〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226								
	会津事務所		事務局長		松岡 陽慈																																	福 島 県 家 畜 人 工 授 精 師 協 会 (公社)福島県 畜産振興協会		代表取締役社長		若林 忠	〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226						
	県南事務所		事務局長		松岡 陽慈																																			福 島 県 家 畜 人 工 授 精 師 協 会 (公社)福島県 畜産振興協会		代表取締役社長		若林 忠	〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226				
	浜事務所		事務局長		松岡 陽慈																																					福 島 県 家 畜 人 工 授 精 師 協 会 (公社)福島県 畜産振興協会		代表取締役社長		若林 忠	〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226		
	復興農場設立準備室 浪江事務所		事務局長		松岡 陽慈																																							福 島 県 家 畜 人 工 授 精 師 協 会 (公社)福島県 畜産振興協会		代表取締役社長		若林 忠	〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226
	指導診療所		事務局長		松岡 陽慈																																									福 島 県 家 畜 人 工 授 精 師 協 会 (公社)福島県 畜産振興協会		代表取締役社長	
県南事務所		事務局長	松岡 陽慈	福 島 県 家 畜 人 工 授 精 師 協 会 (公社)福島県 畜産振興協会	代表取締役社長				若林 忠																																							〒 963-0725 郡山市田村町金屋字川久保 23 番地 ☎ 024-983-1755 FAX024-983-1765 〒 969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17 ☎ 0243-63-2225 FAX0243-63-2226	
組合長理事	小林 正司	〒 960-8031 福島市栄町 6-6 福島セントラルビル 6F	福島県養蜂協会		会 長	近藤 義孝			〒 960-8073 福島市南中央三丁目 36 (畜産振興協会内) ☎ 024-573-0515 FAX024-573-0565 〒 960-8073 福島市南中央三丁目 36 (畜産振興協会内) ☎ 024-573-0515 FAX024-573-0565 〒 960-8073 福島市南中央三丁目 36 ☎ 024-573-0515 FAX024-573-0565																																								
専務理事	矢口 雅浩	家畜診療課 ☎ 024-521-2713 FAX024-523-5660			福島県家畜 人工授精師協会	会 長	浦山 良雄				〒 960-8073 福島市南中央三丁目 36 (畜産振興協会内) ☎ 024-573-0515 FAX024-573-0565 〒 960-8073 福島市南中央三丁目 36 (畜産振興協会内) ☎ 024-573-0515 FAX024-573-0565 〒 960-8073 福島市南中央三丁目 36 ☎ 024-573-0515 FAX024-573-0565																																						
参 事	三瓶 明美				(公社)福島県 畜産振興協会	会 長	紺野 宏	(総括畜産コンサルタント) (畜産コンサルタント) (総括畜産コンサルタント) (農場HACCP主任審査員、JGAP審査員補) (畜産コンサルタント) (農場HACCP指導員) (畜産コンサルタント)																																									
家畜任意部長	堀籠 茂				副 会 長	副 会 長	数又 清市			〒 960-8073 福島市南中央三丁目 36 (畜産振興協会内) ☎ 024-573-0515 FAX024-573-0565 〒 960-8073 福島市南中央三丁目 36 (畜産振興協会内) ☎ 024-573-0515 FAX024-573-0565 〒 960-8073 福島市南中央三丁目 36 ☎ 024-573-0515 FAX024-573-0565																																							
家畜診療課長	須藤 芳之					副 会 長	宗田 雅之																																										
課長補佐	和田 理恵					専務理事	森口 克彦																																										
課長補佐	小野 一義					事務局長	西澤 英俊																																										
県北家畜診療 センター所長	蕪木 洋之					事務局次長 (兼)業務課長	高宮 忠大																																										
郡山田村家畜診療 センター所長	樋口 貞行					管理課長	吾妻 淳子																																										
いわせ石川家畜診療 センター所長	田川 知嘉					専門獣医師	大橋 秀一																																										
白河家畜診療 センター所長	武地 禎美					管理課主事	渡邊 仁美																																										
会津家畜診療 センター所長	板垣 保					管理課主事	松原 彩夏																																										
浜通り家畜診療 センター所長	高橋 忠雄					業務課長補佐	野田 富江																																										
福島県農業共済組合	組合長理事					小林 正司	〒 960-8031 福島市栄町 6-6 福島セントラルビル 6F					業務課主事	幸野せみな	(畜産コンサルタント、農場HACCP指導員) (畜産コンサルタント)																																			
	専務理事					矢口 雅浩	〒 964-0806 二本松市羽石 221-1 ☎ 0243-22-0865 FAX0243-22-0892 〒 963-4312 田村市船引町船引字和高壇 77 ☎ 0247-82-0101 FAX0247-82-0263 〒 963-6311 石川郡玉川村大字岩法寺字湯神前 11-1 ☎ 0247-37-1171 FAX0247-37-1172 〒 961-0912 白河市旭町 1-240 ☎ 0248-23-2010 FAX0248-23-2021 〒 969-3545 河沼郡湯川村大字桜町字森台 77 ☎ 0241-28-0711 FAX0241-28-0252 〒 975-0038 南相馬市原町区日の出町 507 ☎ 0244-23-6148 FAX0244-23-6158					家畜診療課 ☎ 024-521-2713 FAX024-523-5660	業務課技師	八巻 拓未																																			
	参 事					三瓶 明美							業務課技師	熊田 朋樹																																			
	家畜任意部長					堀籠 茂							業務課技師	高橋 愛斗																																			
	家畜診療課長					須藤 芳之							業務課職員(嘱託)	遠藤 正任																																			
	課長補佐					和田 理恵																																											
	課長補佐					小野 一義																																											
	県北家畜診療 センター所長					蕪木 洋之																																											
	郡山田村家畜診療 センター所長					樋口 貞行																																											
	いわせ石川家畜診療 センター所長			田川 知嘉																																													
	白河家畜診療 センター所長		武地 禎美																																														
	会津家畜診療 センター所長	板垣 保																																															
	浜通り家畜診療 センター所長	高橋 忠雄																																															

※人事異動の時期は、団体により異なります。

家畜取引状況報告

令和7年3月和牛子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	性別	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均体重 (kg)	平均単価 (円/kg)	平均日齢 (日)	販売先	
			最高	最低	平均				県内	県外
3	雌	302	1,009,800	249,700	539,503	294	1,837	289	187	115
	雄									
	去勢	382	981,200	163,900	694,181	321	2,165	286	204	178
	計	684	1,009,800	163,900	625,887	309	2,027	288	391	293

令和7年3月乳子牛市場成績（県家畜市場）

福島県酪農業協同組合

(税込み)

開催月	種別	頭数 (頭)	取引価格 (円)		
			最高	最低	平均
3月 第353回	ホル雄	26	118,800	5,500	84,488
	ホル去勢				
	ホルフリー				
	F ₁ 雌	44	267,300	113,300	205,375
	F ₁ 雄	57	283,800	151,800	229,591
	和牛雌	13	480,700	363,000	436,785
	和牛雄	27	766,700	368,500	572,220
	和牛去勢				
	計・平均	167	766,700	5,500	268,507

令和7年3月乳子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	資格	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均単価 (円/kg)	平均体重 (kg)
			最高	最低	平均		
3	乳登	3	207,900	114,400	150,334		
	妊娠牛						
	E T 和雌	1	408,100	408,100	408,100	4,165	98
	E T 和雄	4	740,300	520,300	622,875	6,471	96
	乳雌牛						
	乳雄牛	19	129,800	1,100	69,178	865	80
	乳去勢子						
	F ₁ 雌(育成)						
	F ₁ 去(育成)						
	F ₁ 雌(スモール)	38	231,000	119,900	199,476	2,709	74
	F ₁ 雌(スモール)	28	270,600	63,800	227,228	2,792	81
	計・平均	93	740,300	1,100	201,504	2,648	76

牛も安心 地球も安心

福島県推奨のたね

県奨励品種優良牧草・飼料作物種子
福島県畜産振興協会

〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地

Tel 024-573-0515

Fax 024-573-0565

地方競馬 場外発売日程

(6月)

日曜	①	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
日曜	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月
ニュートラック福島		盛岡	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井
オープス磐梯		船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋

(7月)

日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
ニュートラック 福島	盛岡	大井	船橋	大井	船橋	大井	盛岡	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	盛岡	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	盛岡	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	盛岡	大井	船橋	
オープス磐梯	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	大井	船橋	

※ 発売日程は、変更になることがあります。

地方競馬の収益金は、畜産振興及び地方財政の改善に活用されています。



JRAはJ-PLACE発売日（発売レースは後半4レース）

地方競馬全国協会